



ひなをたすける？

でもちょっと待って！

もし目の前にひながぼつんと1羽だけいたら、あなたは どうしますか？「たいへん！ どうにかしなくちゃ」と、心配し、手をさしのべる人も多いと思います。でも、ちょっと待って！ 人が手をさしのべるのは、ひなにとってはよくないことかもしれません。



★ **巣立ち直後のひなは上手にとぶことができません、地面にいる場合があります。**しかし、そんな場合でも親鳥は近くにはならずいます。



「巣立ち」といっても、立派なおとなになったわけではなく、とぶ練習やえさのとりかたを勉強し始めたばかりなのです！

まず、ひなの様子をよく見てみましょう。

- 自動車にひかれそう
- ネコにおそわれそう

こんな場合は、ひなを道路わきやしげみの中、木の上などに移動させ、すぐにその場からはなれましょう。ひなを移動させても、親鳥は声をたよりにひなの姿を探しますが、人がそばにいるとこわがって近づいてきません。

★ **できるかぎり、手は出さない。**

ひなは弱々しく見えますが、自然のしくみの中で生きている立派な野生動物です。自動車にひかれそう、ネコにおそわれそうなど、人間が関わることで危険にさらされているとき以外は、手を出さずにそっと見守ってあげましょう。もし、手を出さなかったために他の野生動物に食べられることになったとしても、それは自然のしくみの一部であり、かわいそうですがしかたのないことです。私たちがその自然のしくみを勝手に変えてしまてはいけません。

参考文献 ヒナとの関わり方がわかるハンドブックーヒナを拾わないでー (日本野鳥の会), ぼくとりなんだ (日本野鳥の会)

小学校	年	組
名前		

2014年3月発行

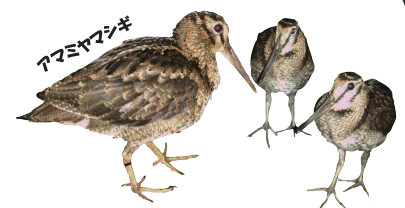
制作：奄美自然体験活動推進協議会・環境省奄美野生生物保護センター（協力）NPO 法人奄美野鳥の会
写真協力：後藤義仁・高美喜男・常田守



わきゃあまみ13

奄美群島の

鳥手帳



はじめに

校庭で空をまう鳥のすがたを見上げたことはありますか？ 教室のまどの外から聞こえる鳥の声に耳をすましたことは？ 自然豊かな奄美群島に住んでいるみなさんは、きっとそんな経験をたくさん持っていることと思います。では、みなさんはそれらの鳥の名前をどのくらい知っていますか。よく見る鳥ならほとんど知っている、という人もいれば、鳥なんてぜんぜん知らない、という人もいるでしょう。

鳥にかぎらず、虫にも花にも魚にも、あるいは夜空にかがやく星や地面に転がる石の種類にさえも、人間は名前をつけます。名前をつけることで、その対象をより深く知ることができるからです。では、そうしてつけられた鳥の名前をおぼえ深く知れば、何かの役に立つでしょうか。残念ながら、すぐに役に立つことはあまりなさそうです。鳥のことを知らなくても、生きていく上で不便はありません。でも待ってください。人間は役に立つことだけを知っていればそれでよい、というものではありませんね。それどころか、役に立たない知識をたくさん持っていることは、実はみなさんの人生をより豊かなものにしてくれます。

たとえば鳥のすがたを見て季節の移り変わりを感じるようになれば、みなさんの毎日は今よりもっと楽しいものになるかもしれません。そうなればいいな、と思いながら、この「奄美群島の鳥手帳」を作りました。さあ、この手帳を使って身近な鳥の名前をおぼえ、その鳥の生活に思いをはせてみませんか。

～ 奄美の鳥のことをもっとくわしく知りたい人のために ～

今回、この「奄美群島の鳥手帳」を作るにあたり、NPO 法人奄美野鳥の会が発行した「奄美の野鳥図鑑」を参考にしました。奄美の鳥のことをもっとくわしく知りたい人は、この図鑑を読んでみましょう。本物の鳥のすがたを見たい人は、奄美野鳥の会などが行っている観察会に参加するのもおすすめです。



オススメ
図書

奄美の野鳥図鑑
(NPO 法人奄美野鳥の会 = 編: 文一総合出版)

手帳の見方

P3 ~ P12 の見方

奄美群島で記ろくのある月に●がついている

名前

見やすさ

国天 / NT /

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

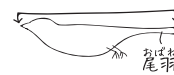
※ 全ての島 (留鳥)

全長: 40cm

他の鳥とちがひ、秋から冬に子育てをします。黒っぽく見えるため名前に「カラス」がついていますが、よく見ると、首すじなどには金ぞくのように光る緑色やむらさき色の部分もあります。「ウツウー」と牛のような声で鳴くので、方言では「ウシバト」とも呼ばれています。

とくちょうなど

全長: くちばしから尾羽までの長さ



オスヒメスの大きさがちがう場合は、それぞれの大きさが書かれています。

国の天然記念物 (国天) / 環境省レッドリスト / 鹿児島県レッドデータブック

CR: 絶滅の危機 I: 絶滅の危機
VU: 危険がふえている II: 危険がふえている
NT: VU になるかも

★～★★★★★ (星の数が多ければ見やすい)



ウツウー、ウツウー など 鳴き声

生活している場所 海岸 山 里

記ろくのある島をオレンジ色でぬりつぶしている

※ 住んでいる島という時期

【島】奄: 奄美大島 加: 加計呂麻島 請: 請島 与路: 与路島 喜: 喜界島
徳: 徳文島 沖: 沖永良部島 与論: 与論島
【時期】夏鳥、冬鳥、留鳥 (下にせつめい)

P13 ~ P14 の見方

名前 ← アマサギ

奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (旅鳥) → 住んでいる島という時期

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 → 奄美群島で記ろくのある月

さあ! この手帳をもって
かんざつに出かけよう!



夏鳥 (なつどり)

春に南方の地域からわたってきて子育てをし、秋に帰っていく鳥。

冬鳥 (ふゆどり)

秋に北方の地域からわたってきて冬をこし、春に帰っていく鳥。

旅鳥 (たびどり)

春と秋のわたりのとちゅうに、奄美群島に立ちよっていく鳥。

注意点

島によってはじょうぼうがふそくしている場合があり、記ろくのある月・島について正かたではないことがある。

留鳥 (りゅうちよう)

同じ地域に一年中いる鳥。

サシバ

★★★★

/ VU /

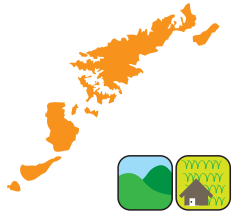
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (冬鳥)

全長：オス 47cm メス 51cm

本州、四国、九州では夏鳥ですが、奄美群島では冬鳥です。よく通る声で鳴くため、秋のおとずれをつける鳥として人々に親しまれています。秋から春にかけての間、農地や

山地で生活します。木のえだや電柱にとまって、えさであるこん虫やはちゅう類、ネズミなどを探します。



メス
ピクイー、キンミー など

コアジサシ

★★★

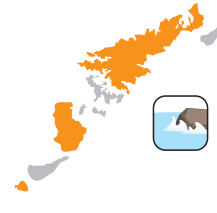
/ VU / I

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

奄・徳・与論 (夏鳥)

全長：22～28cm

小型のアジサシで、くちばしは黄色で足はオレンジ色です。春にわたってきて集団を作り、海岸のすな地で子育てをします。小魚を探しながら海の上をとび、見つけると急降下してとびこみ、くちばしでつかまえます。オスはプロポーズをするときにメスに小魚をプレゼントします。



キリッキリッ、キツキツ など

ベニアジサシ

★★★

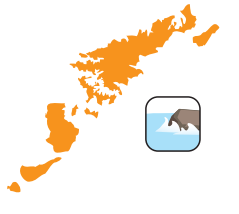
/ VU / II

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (夏鳥)

全長：33～43cm

夏にわたってきて、海岸の岩場で集まり子育てをします。体が白くて頭はずきんをかぶったように黒く、くちばしと足は赤くて目立ちます。くちばしの先が黒いものもいますが、わたってきてしばらくすると赤くなります。最近、数がへっているようで心配されています。



キー、キツキツ など

カラスバト

★★★

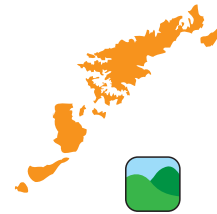
国天 / NT /

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (留鳥)

全長：40cm

他の鳥とちがひ、秋から冬に子育てをします。黒っぽく見えるため名前に「カラス」がついていますが、よく見ると、首すじなどには金ぞくのように光る緑色やむらさき色の部分もあります。「ウッー」と牛のような声で鳴くので、方言では「ウシバト」とも呼ばれています。



ウッー、ウッー など

エリグロアジサシ

★★★

/ VU / II

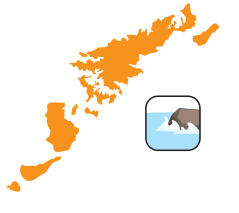
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (夏鳥)

全長：30～32cm

体は白く、目から頭の後ろにかけて黒い線があります。方言では「イキュン」と呼び、「イキュンのムイマユ (目とまゆ)」といえば美人のたとえになるくらい、すらりとした

美しい鳥です。夏鳥としてわたってきますが、数は少なく、子育てのときも大きな集団にはなりません。



ギイー、ギツ、ギツ など

キジバト

★★★★★

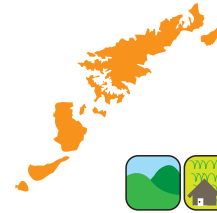
/ /

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (留鳥)

全長：32～35cm

山林から農地、人の家近くまで、ふつうに見られるハトのなかまです。つばさは赤茶色と黒のまざったふくぎつな色で、首に黒と灰色のしま模様があります。「デデー、ポポー、デデー、ポポー」とくり返し鳴きますが、プロポーズをするときに「ブンッ」と鳴くこともあります。



デデー、ポポー など

ズアカアオバト

★★★★

/ /

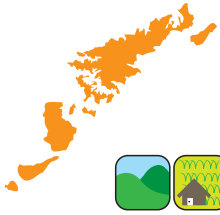
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (留鳥)

全長：35cm

頭が赤くないのに「ズアカ」とつくのは、台湾に住むこの鳥の頭が赤いためで、緑色なのに「アオ」がつくのは、昔の日本語で緑色のことをアオといったためです。木の实を

食べ、人里近くにも住んでいて、窓ガラスによくぶつかります。リコーダーをふいているような声で鳴きます。



オーオー、アオー など

オーストンオオアカゲラ

★★★

国天 / VU / I

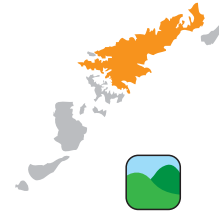
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

奄 (留鳥)

全長：28cm

太くてまっすぐなくちばしで木をつついて、巣あなをほったり中にあるカミキリムシの幼虫を食べたりします。春先には木をつつき「タララララ…」という大きな音を森の中

にひびかせます。この音で、自分のなわばりをせんげんしたり、カップルの相手呼びよせたりしています。



キョツ、キョツ など

リュウキュウコノハズク

★★★

/ /

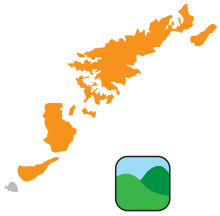
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

奄・喜・加・請・与路・徳・沖 (留鳥)

全長：22cm

森の中に住み、こん虫などを食べて、木のあなで子育てをします。「ツツ」と小さく鳴いた後に「コホツ」と鳴きます。メスはネコのように「ンニヤ」と鳴きます。方言では、

マヤ (ネコ) のような声や「ツツコホツ」という声で鳴く鳥という意味で「マヤツコフ」とも呼びます。



ツツコホツ、ンニヤ など

コゲラ

★★★

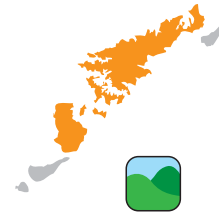
/ / II

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

奄・加・請・与路・徳 (留鳥)

体長：15cm

日本でいちばん小さいキツツキです。木に縦にとまるため、体は小さくても足はしっかりとしています。森の中に住んでいますが、ときには人の家の近くや木が植えられている公園などにもやってきます。春には木をつついて「コッコッコ…」と音を出します。



ギーギーキツキツキツ など

アカショウビン

★★★

/ /

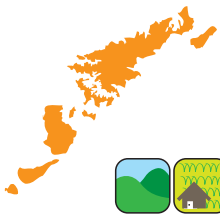
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (夏鳥)

全長：27cm

4月に南の方からわたってきて、夏の間奄美群島で子育てをします。9月ごろ、少しずつしくなり始めるとまた南に帰っていきます。人里近くにも住んでおり、はやくまっす

ぐにとぶため、よく窓ガラスにぶつかります。朝夕によくひびく声で鳴き、多くの人になじみのある鳥です。5



キョロロロー など

リュウキュウツバメ

★★★★

/ /

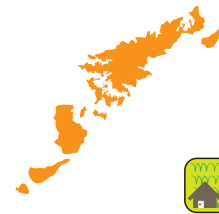
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (留鳥)

体長：13cm

夏に本州などに来るツバメとは別の種類で、奄美群島に一年中住んでいます。建物や橋の下にどろやわらでおわん形の巣を作り子育てをします。親鳥は空をとびながらくば

して虫をつかまえ、ひなにあたえます。子育てが終わるころには集まって、電線などによくとまっています。6



ジクジクツイリリ など

キセキレイ

★★★★★

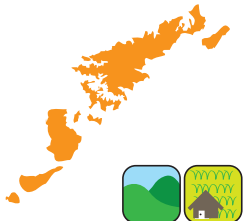
/ /

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (冬鳥)

全長：20cm

むねからおなか、こしがレモン色のスマートな鳥です。奄美群島では冬鳥ですが、早いものは8月ごろにわたってきて、おそいものは5月ごろまでいます。道路にいることが多く、自動車で近づくとなぎ道に下り、近くとまたとんで道路に下り…、をくり返します。



チチン、チチン など

イソヒヨドリ

★★★★★

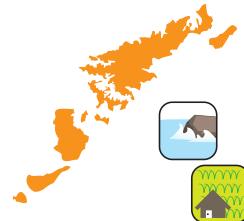
/ /

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (留鳥)

全長：25.5cm

海岸近くにすみ、人里でもよく見られます。もとは海岸の岩のすき間などに巣を作って子育てをしていましたが、今では建物のすき間にも巣を作ることがあります。子育ての時期にはきれいな声でさえずります。オスはきれいな青色で、ルリカケスにまちがえられることがあります。



ツイーピーコー など

メス



ヒヨドリ

★★★★★

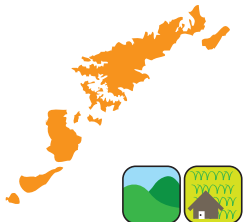
/ /

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (留鳥)

全長：27～28.5cm

数が多く、森の中から人里近くまでいろんな場所で生活しています。「ピーヨ、ピーヨ」とさわがしく鳴きながらとんでいる鳥は、たいていこのヒヨドリです。木の若葉や実を好んで食べ、とくに冬の間はやさいやくだものなどの農作物を食べてしまうため、大きな問題になっています。



ピーヨ、ピーヨ など

シロハラ

★★★★★

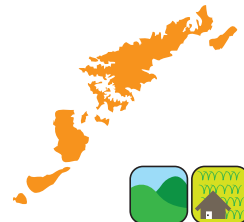
/ /

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

全ての島 (冬鳥)

全長：24～25cm

奄美群島に来る冬鳥でもっとも多く見かける鳥の一つです。人里近くに住んでいて数も多いため、窓ガラスによくぶつかります。地面で食べ物をさがすのでマングースにおそわれやすく、冬の間のマングースの主な食べ物になっています。近づくとも鳴きながらとび去ります。



チャッチャツ、ビュルル など

アカヒゲ

★★

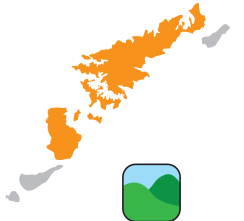
国天 / VU / II

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

奄・加・請・与路・徳 (留鳥)

全長：14cm

世界中で奄美群島とその近くの島々だけに住んでいるめずらしい鳥です。森で生活し、体は小さいのにとても大きくきれいな声で鳴きます。体は赤茶色で、オスは顔とむねが黒く、名前はアカヒゲなのにクロヒゲがあるように見えます。メスの顔やむねはすすけたような白色です。



ヒーヒョヒョピルルル など

メス



ウグイス

★★

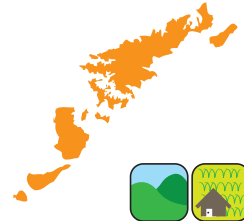
/ /

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

喜・沖・与論 (留鳥) 奄美・加・請・与路・徳 (冬鳥)

全長：14～16cm

声はよく聞きますが、ヤブの中にいるため姿を見ることの少ない鳥です。オスとメスは同じ色で、オスの方が少し大きいのが特ちょうです。喜界島、沖永良部島、与論島には一年中住んでいて子育てをしますが、奄美大島や徳之島などでは子育てをせず、冬にだけわたってきます。



チャッチャツ など

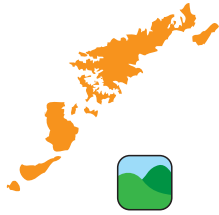
サンコウチョウ

★

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
全ての島 (夏鳥)

全長：オス 44.5cm メス 17.5cm

4月に南の方からわたってきて、奄美群島で子育てをします。声はよく聞きますが、姿はなかなか見られません。オスの尾羽がとても長く、体の大きさの3倍ほどあります。鳴き声がつき、ヒ、ホシ (月日星)、ホイホイホイと聞こえるため、三つの光の鳥、三光鳥と名づけられました。



オス

フィフィヒイホイホイホイ など

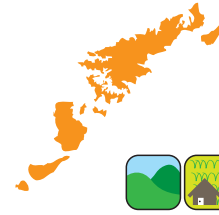
メジロ

★★★★★

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
全ての島 (留鳥)

全長：12cm

人の家の近くでも見られる、奄美群島でもっとも身近な鳥の一つです。体は緑色でのもとは黄色く、目のまわりに白いふちどりがあります。このふちどりは、こまかな羽毛が生えたものです。1月ごろにヒカンザクラの花がさくと、集まってきてみつをすう姿がよく見られます。



チーチュルチュル など

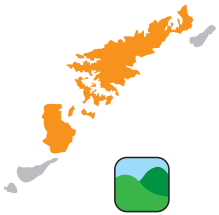
ヤマガラ

★★★

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
奄・加・請・与路・徳 (留鳥)

全長：14～15cm

主に森の中に住んでいます。頭がぼうしをかぶったように黒く、おなかはオレンジ色をしています。好奇心が強く、人の近くによってくることもあります。かたい木の実を足でおさえ、くちばしでつつき割って上手に食べます。冬にそなえて木の実をためておく習性があります。



ツーツーピーツーツーピー など

ルリカケス

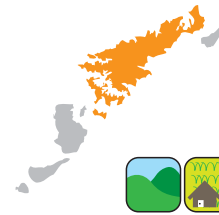
★★★

国天 / / II

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
奄・加・請 (留鳥)

全長：38cm

世界中で奄美大島と加計呂麻島、請島だけに住んでいます。羽根がきれいなので、かつてはぼうしのかざりを作るためにつかまえられていました。森の中に住み、ドングリをよく食べています。きれいな色ににあわないさわがしい声で鳴き、この他にもいろんな声を出して会話をします。



ジャー、ギャー、キュイ など

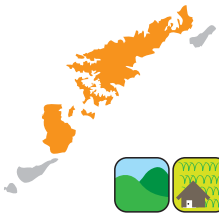
シジュウカラ

★★★★★

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
奄・加・請・与路・徳 (留鳥)

全長：14～15cm

森の中から人の家の近くまでいろんな場所で生活しています。木の割れ目などのすき間に巣を作り子育てをしますが、ブロック塀のあななどを使うこともあります。巣箱をかけるとよく利用します。のどからおなかにかけて黒いすじがあり、ネクタイをしめているように見えます。



ツツピーツツピー など

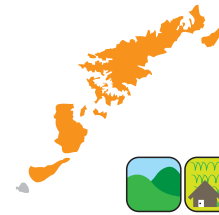
ハシブトガラス

★★★★★

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
奄・喜・加・請・与路・徳・沖 (留鳥)

全長：50～55cm

もともと森の中にいる鳥ですが、人里でもふつうに見られます。木の実から動物の死体まで、いろんなものを食べて生活しています。ゴミすて場でゴミをあさったりすることもあり問題になっています。理由はよくわかりませんが、徳之島では数が少なく、与論島には住んでいません。



カーカー など



アマミヤマシギ / オオトラツグミ

一絶滅のおそれのある鳥を守る取り組み

日本中、世界中で、数多くの鳥が絶滅しそうになっています。奄美大島に住むオオトラツグミ、琉球列島に住むアマミヤマシギもまた、絶滅が心配されている鳥です。環境省奄美野生生物保護センターでは、NPO法人奄美野鳥の会などと協力し、これらの鳥のすみかや食べもの、生活のしかたなどを調べ、守っていく取り組みを進めています。

アマミヤマシギ

★★

/VU/ I

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

奄・加・請・与路・徳（留鳥）喜・沖（冬鳥）

全長：34～36cm

琉球列島だけに生息する、世界的に見てもめずらしい鳥です。森林ばっさいやマングースのえいきょうで数がへっています。また夜に道路上にあらわれるため、交通事故も発生しています。夜行性であると考えられていましたが、最近の観察によると、昼間にも食べ物をさがして活動することがわかっています。



オオトラツグミ

★

国天 / VU / I

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

奄（留鳥）

全長：32cm

トラツグミという鳥のなかまで、奄美大島の森だけに住んでいます。森林ばっさいなどのえいきょうで数がへり、かつては200羽もいないと考えられていました。このため絶滅が心配されていましたが、近年は森林の回復とともに数がふえてきています。春先の早朝にとくちょう的な美しい声でさえずります。



アマミヤマシギの調査

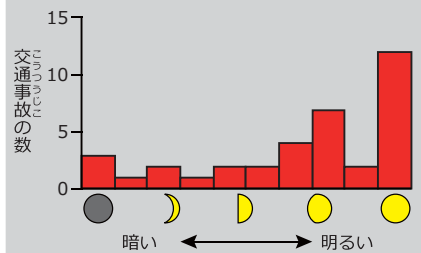
奄美大島、加計呂麻島、徳之島では、アマミヤマシギの調査を毎年行っています。夜に林道を自動車で行く走り、アマミヤマシギを探して数える調査です。



豆しき

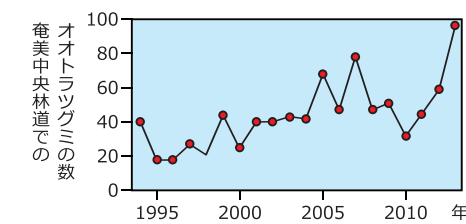
★ 月夜のドライブに注意

月の明るい夜はアマミヤマシギが道路上によく出てくるため、交通事故がふえます。



オオトラツグミの調査

奄美野鳥の会が中心になり、毎年春に奄美中央林道でオオトラツグミの数が調べられています。これによると、数は年々ふえつつあることがわかります。



豆しき

ひなの食べ物は「ミズ」

親はひなに数多くのミズをあてえます。子育てにはミズの多い場所が必要です。



ミズをくわえて巣に来た親

奄美にはまだまだたくさんの鳥がいるよ！



コサギ・チュウサギ・ダイサギ
奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (冬鳥)

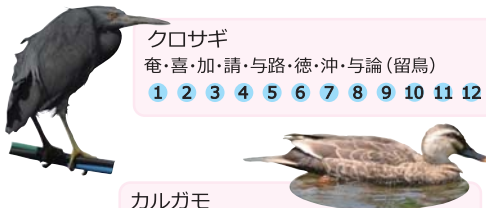
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



クロサギ

奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (留鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



カルガモ

奄 (留鳥) 加・請・与路・徳・沖・与論 (冬鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



アマサギ

奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (旅鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



バン

奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (留鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

シロハラクイナ

奄 (留鳥) 加・請・与路・徳・沖・与論 (旅鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



カワセミ

奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (留鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



セイタカシギ

奄・喜・徳・沖・与論 (冬鳥 / 旅鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



ヒクイナ

奄・加・徳・沖・与論 (留鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



リュウキュウヨシゴイ

奄・加・請・与路・徳・沖・与論 (留鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



ミソゴイ

奄・喜・徳など (旅鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



ゴイサギ

奄 (留鳥) 喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (冬鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

奄美群島で記ろくのある野鳥は約340種類

奄美群島の大きさは、日本全体の0.3%程度。そこで見られる鳥は、日本全体の約半数！

奄美にしかない「固有種」も多い。→世界的に見ても大切な地域！

ここにしょうかいされている鳥はほんの一部です



ミサゴ

奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (冬鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



ツミ

奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (留鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

アカハラダカ
奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (旅鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



アオバズク

奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (留鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



ヤツガシラ

奄・喜・加・徳・沖・与論 (旅鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

ジョウビタキ

奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (冬鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



キビタキ

奄・徳 (留鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

イソシギ

奄・喜・加・請・与路・徳・沖・与論 (冬鳥 / 旅鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



サンショウクイ

奄・加・請・与路・徳 (留鳥) 沖・与論 (旅鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



ミフズラ

奄・喜・徳・沖・与論 (留鳥)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



多くの島がならぬ奄美群島は、わたりをする鳥の大切な休けい場所になっている。



あまくろチェック

まちがって保護？「オオミズナギドリ」

毎年 11 月ごろによく保護されるオオミズナギドリ。実はこの鳥、地面からとび上がるのが苦手と、一度地面に下りるととび上がれなくなってしまうことが多いです。ケガをしているわけではないので、このような個体を見つけたら、高台などにつれていってみましょう。写真のようにそっと持ち上げると、風をとらえて元気にとんでいきます。



あまくろチェック

えさやり禁止！「バリケン」

中央・南アメリカにいるカモのなかまを品種改良したもので、日本にはもともといなかった生きものです。この鳥のように人間が他の場所から持ちこんだ生きものを外来生物と呼びます。外来生物は、もともとその場所にいた生きものの生活をおびやかせます。外来生物をふやさないために、えさやりなどは絶対にしないでください。

べつめい 別名：フランスガモ